

# 青野原



【発行】  
防衛協会青野原会  
駐屯地連合会  
青 桜 会

【印刷】  
(株)前田精版印刷

駐屯地司令要望事項  
地域と共にある駐屯地  
群長統率方針  
任務の完遂  
群長要望事項  
なすべきことをなせ

## 謹賀新年



第8高射特科群長兼青野原駐屯地司令  
1等陸佐 押 川 誠

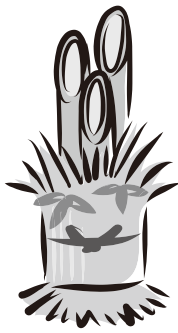
### 年頭の御挨拶

「青野原」をご覧の皆様、謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、旧年中はひとかたならぬご配慮にあずかりまして誠にありがとうございます。青野原駐屯地を代表しまして厚く御礼申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増していることは改めて言うまでもありませんが、中でも、我が国の周辺には、質・量に優れた軍事力を有する国家が集中し、軍事力の更なる強化や軍事活動の活発化の傾向が顕著化するとともに、宇宙・サイバー・電磁波といった新たな領域への対応が求められるなど、安全保障上の課題や不安定要因がより深刻化しています。

また、国内においても、南海トラフ地震や首都直下など大規模地震の発生が予測されるとともに、昨年は、大雨や相次ぐ大型台風により大きな被害をもたらすなど、近年、台風や集中豪雨による大規模な風水害が多発しており、いつ何があってもおかしくない状況にあると言えます。

このような中、陸上自衛隊においては、平成30年12月に閣議決定された「防衛計画の大綱」及び「中期防衛力整備計画」に基づき、新たな領域における作戦能力の強化を図るとともに、南西地域の防衛態勢強化に資する部隊の新編・改編を推進し、抑止力・対処力を強化するなど、あらゆる事態に即応し、的確に対処し得るための取り組みを実施しております。



ここ青野原駐屯地に所在する各部隊も、何時如何なる任務が与えられようとも事態に即応して任務を完遂し得るよう、常に即応態勢を維持しつつ教育訓練を積み重ねその実力を涵養するとともに、昨年発生した台風15号及び19号に係る災害派遣にも従事するなど、国民の「安全・安心」を守る最後の砦たる陸上自衛隊の一員として活動して参りました。

本年も青野原駐屯地は、引き続き「地域と共にある駐屯地」、「郷土部隊」として、皆様の負託に応えられるよう精励していく所存です。

時代は平成から令和へと変わりましたが、これまでと変わらぬ青野原駐屯地に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって幸多き年になりますようご祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。



防衛協会青野原駐屯地  
連合会 会長  
田 村 彰 敏

青野原駐屯地関係者の皆様、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

新しい御代として皇位継承諸行事も昨年11月10日に無事終了しました。一方、日本を取り巻く環境としては、日米、日中、日韓関係等対外関係に多くの課題を抱えているように思います。

昨年は、全国的に見て大きな災害の多い年でありました。当地方は幸いにも大きな影響は受けませんでした。また、大型台風による風水害の影響を受けた地域が多くありました。



青桜会 会長  
野 口 英 司

青野原駐屯地隊員の皆様及び青桜会会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年、2019年は皇位継承があり元号が令和となりました。一方、国際的には日韓関係、米中の貿易等の対立も解決の方向がなかなか見いだせない中、国内では台風が東日本に続けて襲来して記録的な風水害を被り、自衛隊が災害派遣で活躍したのは記憶に新しいところです。

さて、令和最初の元日を迎えた2020年は庚子の年であり、これは新しい兆しが現れる年、収穫の年ともいわれるようです。

前回の庚子年1960年は、多くのアフリカ諸国が独立してアフリカの年と言われ、また新安保条約の署名があり、国内では、いわゆる安保闘争があった年でした。

今年は、夏季に東京オリンピック、

中でも昨年10月には、静岡県や関東甲信越、東北地方ではこれまでに経験したことのないような記録的な大雨が降り、大規模な河川氾濫や土砂災害に見舞われました。

この災害に際しても自衛隊の活躍は目を見張るものが多くありました。河川決壊により住宅地一帯が海のように水浸しになった中、自衛隊ヘリ、及び自衛隊員によるボートでの住民救出活動などは、自衛隊員の頼もしさ、かけがえのない存在は多くの国民に感動を与えたことと思います。いざというときに国民にとって頼もしい存在である自衛隊員を側面から支援する組織として、各地防衛協会はその存在意義を一段と高める必要が

バラリンピックの開催が予定されるとともに海外では台湾、韓国、米国でそれぞれ選挙があり、その結果は少なからず日本に影響を及ぼすと考えられます。

また、昨年、宇宙・サイバー・電磁波領域での対応を含めた新たな防衛大綱・中期防衛力整備計画が制定され、今後陸上自衛隊には地上配備型イージスシステム等新たな装備の導入、部隊の編成もあり、これからその戦力化に多くの努力が為されるものと思います。私は、昨年の「年頭のご挨拶」では憲法改正、北方領土の返還、募集環境の改善を記事にしました。憲法改正、北方領土の返還は、歩みを止めることなくこれからも着実に進めていくことが重要と考えます。しかし募集環境の改善はまさに喫緊の課題であると思

います。陸上自衛隊の戦力は人そのものであり、継続的に良質隊員を獲得する為、それぞれの立場で今すぐできることを為すべきと考えます。

今年は青野原駐屯地創立44周

ある様に思います。普段からお互いに連携を図り、自衛隊員を支える防衛協会として活動ができるよう、その存在意義を高めていきたいと考えております。年頭にあたりまして、駐屯地の皆様さらに訓練に励まれ、より一層ご発展されることと、皆様方のご健康、ご多幸を祈念申し上げます。



年目の年ですが、毎年の訓練の積み重ねにより、良き伝統を築くとともに有事に対して着実に備え続けることが必要です。そしてこれは同時に多くの国民が期待していることです。

我々青桜会は、常に駐屯地の発展に全面的に協力し続ける組織です。隊員個々の皆様とは直接お目にかかることは主要行事の他は少ないかと思いますが、有事に備える自衛隊、駐屯地の皆様の動向に注目し、常に関心をもちております。

どうかお体を大切にし訓練に邁進されることを祈念し、新年の御挨拶と致します。



部隊長挨拶



青野原駐屯地業務隊長  
2等陸佐  
松本 昭彦

新年明けましておめでとうござい  
ます。地域の皆様を始め、防衛省、自衛  
隊を応援していただいている方々、そ  
して隊員とご家族の皆様方におかれま  
しては希望に満ち溢れた新年をお迎え  
のこととお慶び申し上げます。

昨年3月、青野原駐屯地業務隊長を  
拝命し、「魅力的な駐屯地」、「サー  
ビス日本一の駐屯地業務隊」を目指し  
て、新しい取組みに日々挑戦しており  
ます。隊員には大変な苦労をかけてお  
りますが、不測事態は常に想定内とし  
難題は柔軟な発想で努めて簡素なもの  
に置き換え、全て良い結果に導けるよ  
うに尽力しております。

笑顔の絶えない緑の下の力持ちの駐  
屯地業務隊を引き続き応援いただきま  
すようお願い申し上げますとともに、  
皆様のご多幸を祈念申し上げ、新年の  
ご挨拶とさせていただきます。



本部管理中隊長  
1等陸尉  
櫻井 誠

新年明けましておめでとうございま  
す。青野原駐屯地の隊員及び御家族の皆  
様、並びにOB・協力会の皆様におか  
れましては、輝かしい新春を迎えられ  
たこととお慶び申し上げます。

昨年は、自衛隊統合演習をはじめと  
する上級部隊及び航空自衛隊との各種  
訓練等の場を活用し、実戦的・実際の  
な訓練を通じて中隊の各機能において  
それぞれ練度を向上できたものと考え  
ております。

本年は群訓練検閲が予定されており、  
昨年練成した成果を元に群本部機関と  
して群本部機能を最大限発揮できるよ  
う、一人一人がプロ意識を醸成して群  
の任務達成に寄与するとともに、昨年  
の大型台風をはじめとした自然災害に  
よる全国的な被害の多発を踏まえ、起  
こり得る災害への対応等、多様な任務  
に全力で取り組んで皆様の期待に応え  
られるよう努力する所存であります。  
最後に、本年も皆様にとって素晴らしい

い年になることを祈念して新年の挨拶  
とさせていただきます。



第338高射中隊長  
1等陸尉  
井上 友二

新年あけましておめでとうございま  
す。皆様におかれましては、新年を健  
やかに迎えられたことと心よりお慶び  
申し上げます。

昨年は、春季日本原演習整備を始  
め、中SAM部隊実射訓練指導の支援、  
方面隊創設記念行事、自衛隊統合演習  
等に参加させていただき、事故等もな  
く訓練基盤の拡充を実感できた1年と  
なりました。これもひとえに皆様から  
のご指導及びご支援のおかげと心より  
感謝しております。

今年は、方面直轄部隊訓練検閲、中  
SAM部隊実射訓練検閲等に向けて更  
なる練度向上に努めるとともに、飛躍  
の年となるよう職務に邁進していき  
たいと思います。今後とも、ご支援、ご  
協力のほどよろしくお願い申し上げます。



第339高射中隊長  
3等陸佐  
岩月 賢二

新年明けましておめでとうございま  
す。隊員及びご家族の皆様、後援会及び  
青校会の皆様におかれましては、健  
やかな新年をお迎えのこととお慶び  
申し上げます。

昨年は、中隊野外行動訓練検閲及び  
中SAM部隊実射訓練検閲を受閲し、  
任務遂行能力を向上させることができ  
ました。これもひとえに、隊員一人一  
人の努力とご家族の皆様のご支援、後  
援会及び青校会の皆様のご支援、ご協  
力の賜物と深く感謝しています。

私ごとですが、昨年の12月で転出い  
たしました。在職間、皆様のご支援、  
ご協力をいただき、職務を全うするこ  
とができました。本当にありがとうございました。  
ごいしました。現中隊長にかわり、本年  
も昨年同様変わらぬご理解とご協力を  
賜りますようお願い申し上げますと  
ともに、皆様のご多幸を心よりお祝い  
申し上げます。新年のご挨拶とさせてい  
た



第340高射中隊長  
3等陸佐  
平林 昭人

青野原駐屯地隊員及びご家族の皆様、  
OB並びに各協力団体の皆様、新年明  
けましておめでとうござい  
ます。健康で輝かしい新年を迎えられた  
こととお慶び申し上げます。

第340高射中隊長として青野原駐  
屯地に着任し、早いもので9ヶ月が経  
ちました。

中隊は、昨年度当初から新たな編成  
において段階的に機能別訓練、中隊訓  
練等を実施することで基本・基礎の徹  
底を図り、今年予定されている群野外  
行動訓練検閲及び中SAM部隊実射訓  
練検閲に向けて着実に練度を向上してま  
いりました。

このように実のある訓練が実施でき  
たのは、隊員一人一人の努力と執念、  
ご家族の皆様のご支えがあったからこそ  
であり、心より感謝申し上げます。

今年も更なる練度向上を図り、「い  
つ、如何なる任務も達成できる強靱な  
中SAM中隊」の育成に邁進する所存  
です。引き続きご支援、ご協力を  
賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって幸多  
き1年となることを祈念して新年のご  
挨拶とさせていただきます。



第343高射中隊長  
1等陸尉  
亀地 昌宏

新年明けましておめでとうございま  
す。駐屯地連合会、青校会等の各団体及  
び隊員並びにご家族の皆様方が、良  
き新年をお迎えされたことをお慶び  
申し上げます。

昨年は、中隊は、中SAM部隊実射訓  
練検閲（ASPP）に参加し、訓練検  
閲参加隊員が訓練成果を十二分に発揮し  
て、大変良好な成果を獲得し、目標を  
達成することができました。

これもひとえに訓練基盤の確保、き  
め細かな指導、各種勤務への配慮等、  
群をはじめ様々な方々のご支援・ご協  
力による賜るものであり、大変感謝し  
ております。

本年も、昨年のASPPや各種訓練等  
の成果をもとに、常に任務を完遂でき

る中隊を育成するとともに、更に飛躍  
するための1年とする所存であります  
ので、引き続き変わらぬご支援・ご協  
力のほど、よろしくお願いいたします。



第308高射搬送通信中隊長  
1等陸尉  
延原 光秋

新年あけましておめでとうございま  
す。青野原駐屯地の隊員及びご家族の皆  
様、また、OB並びに協力会の皆様に  
おかれましては、輝かしい新しい年を  
お迎えのこととお喜び申し上げますと  
ともに、昨年、中隊に賜りましたご支  
援、ご厚情に対し深くお礼申し上げます。

さて昨年、中隊は与えられた任務を  
着実に遂行するとともに、新年1月に  
受閲する「令和元年度第5次野外行動  
訓練検閲（中隊検閲）」に向けて班訓  
練により足腰を鍛え、中隊訓練を通じ  
て各種行動に対する対応能力を維持・  
向上させてまいりました。

無事目標を達成できたことは、隊員  
一人ひとりの強い信念・弛まない努力  
とご家族などの支えがあり獲得できた  
ものと思います。

本年も、中隊は与えられた任務に対  
し、一つひとつ目標を掲げ愚直にまい  
進していく所存です。  
引き続き変わらぬご支援ご厚情のほ  
どよろしくお願い申し上げます。



第302高射直接支援中隊長  
1等陸尉  
林田 和也

新年明けましておめでとうございま  
す。隊員のご家族の皆様並びにOB・  
各協力団体の皆様には謹んでお慶び  
申し上げます。

昨年3月に中隊長として上番し、各  
高射中隊訓練検閲支援に際しての協同  
訓練、ASPP支援等の他、台風15号及  
び19号に伴う災害派遣を実施し、任務  
を全うできた1年でした。

今年、第8高射特科群の方面総監  
直轄部隊訓練検閲の受閲に合わせ、  
中部方面後方支援隊訓練検閲を受閲い  
たします。これに向けて引き続き訓練  
練度の向上を図り、一丸となつてキ  
メどをキメられる中隊となれるよう任  
務に邁進していく所存であります。

今年も変わらぬご理解・ご協力のほ  
ど宜しくお願いいたします。  
皆様の益々の御健勝を祈念申し上げ、  
新年のご挨拶とさせていただきます。



第352会計隊  
青野原派遣隊長  
2等陸尉  
塩津 幸孝

新年あけましておめでとうございま  
す。令和元年12月1日付で第352会計  
隊青野原派遣隊長に上番しました、2  
等陸尉 塩津幸孝です。皆様よろしく  
お願いいたします。

中部方面隊内唯一の高射特科群の所  
在駐屯地で勤務できることを非常に光  
榮に思っております。

また青野原駐屯地及び第8高射特科  
群は約13年前に私が陸曹候補生履修前  
教育でお世話になった大変思い出深い  
駐屯地及び部隊であります。そのとき  
の恩返しができるように、駐屯地のた  
め部隊のために、持てる識能をすべて  
発揮して勤務に邁進しております。

会計に関するご相談・ご質問・不安  
事項等ございましたら、お気軽に会計  
隊までご相談ください。



第318基地通信中隊  
青野原派遣隊長  
2等陸尉  
檜 寄 洋 一

新年明けましておめでとうございま  
す。皆様におかれましては、輝かしい新  
年をお迎えのこととお慶び申し上げま  
す。

昨年中は基地通信隊に対するご理  
解・ご支援誠にありがとうございました。

平成30年8月に派遣隊長に上番しま  
して、1年余りが経過致しました。隊  
員一人一人がシステム通信のプロ意識  
を強く持つよう指導して参りました。  
今後も駐屯地通信業務を実施できるよ  
う引き続き、牽引して参ります。

本年も、駐屯地内外関係部隊等との  
融和親睦を図りつつ、基地通信隊とし  
ての任務を完遂していく所存でありま  
す。  
昨年同様皆様のご理解・ご支援のほ  
どをよろしくお願いするとともに、皆

様のご健勝を祈念申し上げ、新年のご  
挨拶とさせていただきます。



第131警務隊  
青野原連絡班長  
1等陸尉  
岡部 薫

青野原駐屯地隊員及びご家族の  
皆様、そして各協力団体の皆様、新年  
明けましておめでとうござい  
ます。皆様におかれましては輝かしい新年を  
お迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、警務隊に対するご理解・ご  
支援を賜りましたことを、この場をお  
借りしまして厚く御礼申し上げます。

令和という新しい時代を迎え  
ましたが、本年も防犯活動により事件・事故  
の未然防止に努める等、駐屯地所在部  
隊の任務の完遂に寄与できるよう、連  
絡班一丸となり職務に邁進していく所  
存であります。

最後に、本年が皆様にとって幸多  
き年となりますようお祈り申し上げます  
とともに、本年も倍旧のご支援・ご協  
力を賜りますようお願い申し上げます。



第8高射特科群  
最前任上級曹長  
准陸尉  
高松 毅

青野原駐屯地の隊員並びにご家族の  
皆様、そして諸先輩の皆様、新年明け  
ましておめでとうござい  
ます。皆様におかれましては、輝かしい新年を迎え  
られたこととお慶び申し上げます。

昨年は、新元号「令和」となりまし  
たが、昨年も自然災害が多く発生し、  
台風15号及び19号による災害派遣では、  
駐屯地からも第302高射直接支援中  
隊の隊員が派遣されており、自衛隊の  
任務及び自身の職責に対し認識を新た  
にした1年でもありました。

本年も青野原駐屯地全隊員が地域の  
皆様から信頼をいただけるよう、精強  
な自衛官として切磋・琢磨し、いかな  
る任務も完遂できる部隊を目指してい  
く所存でございますので、昨年同様の  
変わらぬご理解、そしてご支援・ご協  
力を賜りますようお願い申し上げます。

新春のお慶びを  
申し上げます

青野原駐屯地 一同

令和元年度 野外行動訓練検閲

340 高中



第8高射特科群（群長 押川1佐）は、11月18日、第340高射中隊（中隊長 平林3佐）に対し、青野ヶ原演習場において、野外行動訓練検閲を実施し、一連の状況下での各級指揮官の指揮、部隊の基本的行動、隊員の基礎動作について、その練度を確認した。昼夜間の気温差が10度以上、深夜には気温が零度近くまで下がる厳しい気候、また、断続的な航空攻撃の状況により、終始休む間もなく予備陣地へ移動した中



▲器材位置を指導する第340高射中隊長(右)



▲射撃用レーダ装置の射撃準備

優秀隊員

- 運用訓練陸曹●  
2等陸曹 岡田 秀 樹
- 発 射 陸 曹●  
3等陸曹 宮 里 慎太郎
- 射 統 陸 曹●  
3等陸曹 仁 禮 真之介
- 射 統 手●  
陸 士 長 小 川 正 義
- 発 射 手●  
陸 士 長 玉 井 篤 志

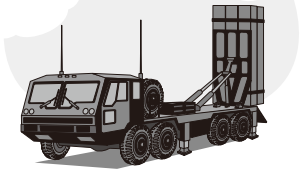
令和元年度 中SAM部隊実射訓練検閲

参加隊員所感



339高中  
3等陸曹  
横山 愁

今回、私は初めて中SAM部隊実射訓練検閲に参加させていただきました。約半年間におよぶ厳しい訓練の中で、班の連携を高めるため何度も話し合い、自分達の弱点を見付けだし、改善する事で一つの中SAM中隊として成長することができたと感じました。また、個人としても発射陸曹として、器材操作・知識の向上を図り、自分の役割を果たすことができた事はとても良い経験となりました。今後も日々、成長できるように努力していきたいと思っています。



参加隊員所感



343高中  
3等陸曹  
小野 翔太郎

私は、令和元年度中SAM部隊実射訓練検閲に射撃指揮装置の射統陸曹として参加しました。当初は、器材操作、対空戦闘において練度不足でしたが、中隊での厳しい訓練、群指導により、多くの方々のご指導をいただき、自信をもって実射訓練検閲を受閲することが出来ました。また対空実射においては、実射コンソールでのミサイル発射ボタンの押下、ミサイル発射から、会合後のビデオ現況の確認等、実射の景況を肌で感じる事が出来ました。今回の訓練を通して、高射特科隊員として大きく成長出来たと感じましたが、それとともに、自分自身には、まだまだ練度を向上できる伸びしろがあることを発見できました。今回の経験を活かして更なる練度向上に努めたいと思います。

トライやるウィーク支援

駐屯地は、10月8日から11日までの間、加東市の各中学校が、また、11月11日から14日までの間、三木市の各中学校が実施する就業体験「トライやる・ウィーク」を支援した。

自衛隊の訓練体験を通じ、参加した中学生からは「節度ある行動や親切にされる姿がカッコ良かった」「徒步行進訓練の体験では、自衛官はもっと重いものを背負って長距離を歩く」と聞いて、自衛隊のすごさを感じた。」といった趣旨の感想が聞かれた。



▲徒步行進訓練の体験

中部方面隊創隊59周年記念行事

第8高射特科群は、10月6日、伊丹駐屯地において実施された「中部方面隊59周年記念行事」に群長以下95名、車両19両で参加、観閲式・観閲行進・訓練展示では、部隊の威容及び隊員の真摯な姿勢を披露、本記念行事の成功に寄与した。

また、前日に行なわれた感謝状授賞式では、永年にわたる隊員の士気高揚のための支援・協力が、中部方面隊の任務達成及び充実に



▲観閲式(中央：群長)



▲訓練展示

災害派遣活動に従事

302 高直中

第302高射直接支援中隊は、「令和元年台風19号に係る災害派遣」活動に従事するため、10月14日深夜、歌門2曹以下15名が入浴支援を任務として活動拠点である栃木市市民交流センターに向け駐屯地を出発し、10月23日に無事任務終え帰隊した。



▲出発の報告をする歌門2曹以下15名



▲資材の積載

三木市 防災訓練

338 高中



第8高射特科群は、9月29日、三木市総合運動公園 陸上競技場において「令和元年度三木市総合防災訓練」に、11月17日、小野市立河合小学校において「令和元年度河合小学校区域域教育防災訓練」にそれぞれ参加した。三木市総合防災訓練では、倒壊家屋からの救助等を実施し、河合小学校区域域教育防災訓練においては、救出活動、市民に対する土のう作成指導及び装備品展示を実施し、それぞれの訓練を通じて関係機関との連携を確認することができた。



▲倒壊家屋からの救助(三木市)



▲土のう作成(小野市)

祝

成人おめでとう!!

「落ち着いた綺麗な女性になります。」



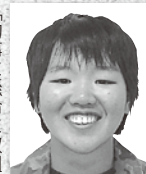
340高中  
陸士長  
松井 怜輝

「成人としての自覚を持ち、責任感を持って頑張っていきたいです。」



339高中  
陸士長  
富坂 昇真

「物事に懸命に取り組む、責任を持って行動できる大人になります。」



338高中  
1等陸士  
小松 香月

「成人としての自覚を持ち、立派な大人になります。」



338高中  
陸士長  
正殿 大真

「成人としての自覚を持ち日々成長していきます。」



338高中  
陸士長  
藤井 颯司

「日々努力し、少しでも理想とする大人に近づけるよう謙虚な姿勢でがんばります。」



338高中  
陸士長  
遠藤 瞭汰

「万里一空の精神で日々努力していきます。」



本管中  
3等陸曹  
高橋 利彰

「成人としての責務を自覚し、自分の目標達成へと努力します。」



302高直中  
3等陸曹  
河原 広空

「成人らしく自覚ある行動をし、仕事とプライベートを充実させたいです。」



308高搬中  
陸士長  
上田 理沙

「大人としての知識、教養を高めたいです。」



343高中  
陸士長  
藤原 真心

「自分の行動に責任をもてる大人になる。」



343高中  
陸士長  
山本 夏希

「今までお世話になった方々に恩返しできるように頑張ります。」



340高中  
1等陸士  
牧村 菜々花

「後輩の見本となる自衛官になります。」



340高中  
1等陸士  
鈴木 哲矢

「これからも明るく元気に頑張ります。」



340高中  
陸士長  
片岡 隼杜

「色々と挑戦したいと思います。」



302高直中  
1等陸士  
藤田 夕海

「二十歳らしく何事も精一杯頑張ります。」



302高直中  
陸士長  
三原 もも

「成人として頑張っていきたいと思います。」



302高直中  
陸士長  
寺口 遥大

「前進あるのみ。常に挑戦していきます。」



302高直中  
陸士長  
吉村 旺人

「やるべき事はこれまでと変わらません。これまで通り、全力投球です。」



302高直中  
3等陸曹  
福島 基至

「成人として気持ちを新たに頑張ります。」



302高直中  
3等陸曹  
高木 響

「体だけでなく、中身も成人になれるようにやっていきます。」



302高直中  
3等陸曹  
今井 絃太

結婚おめでとう  
ございます!

●本管中 (12月5日)

3曹 惣 万 大地  
(吉 井) 美野梨さん

●339高中 (11月22日)

3曹 (江 守) 咲枝里  
星 野 晃 基さん

●339高中 (12月21日)

3曹 水 谷 裕 一  
3曹 (荒 川) 奈保子

お誕生おめでとう  
ございます!

●338高中

2曹 岩 田 貴志  
10月29日生 (男) 哲 昇 くん

●343高中

3曹 坂 上 広 明  
10月5日生 (長女) 千 代 ちゃん

●338高中

3曹 阿 部 唯 唯  
10月15日生 (二女) 唯 ちゃん

●338高中

3曹 橋 本 聡 利  
11月5日生 (長男) 祥 克 くん

●338高中

3曹 笹 谷 悠 仁  
11月14日生 (長男) 悠 仁 くん

●302高直中

3曹 大 澤 諒 己  
10月19日生 (長男) 諒 己 くん

多可町防衛協会は10月30日、加東市防衛協会は、11月1日にそれぞれ定期総会を実施した。各総会では、決算報告、新年度事業等について審議され、いずれの議案も滞りなく承認された。

また、加東市防衛協会は、定期総会同日に航空自衛隊奈良基地へ、加西市防衛協会は、11月16日から17日出雲駐屯地へ、三木市防衛協会は、11月17日、海上自衛隊徳島航空基地へそれぞれ研修に赴き、自衛隊に対する理解を深めた。

防衛協会の活動

●第8高射特科群

3等陸尉 大藤 慎弘  
令和元年11月9日付

●第8高射特科群

2等陸曹 黒崎 一  
令和元年11月30日付

退官者紹介

永年のご勤務お疲れ様でした

●転 入

中部方面会計隊本部(伊丹)から  
第32会計隊青野原派遣隊長  
2尉 塩 津 幸 孝  
以上令和元年12月1日付

●転 出

自衛隊山口地方協力本部へ  
青野原駐屯地業務隊 行(一)2 藤 田 泰 成  
第398会計隊(信太山)へ  
第32会計隊青野原派遣隊長  
1尉 前 田 昇 三  
以上令和元年10月1日付

秋の叙勲受章者

おめでとうございます

★瑞宝中綬章

五 藤 正 美  
(第10代 第8高射特科群長)

★瑞宝双光章

鈴木 栄 一  
(最終部隊 第8高射特科群)

★瑞宝単光章

大 龜 明  
(最終部隊 第8高射特科群)

第33回危険従事者叙勲

新着任指揮官の紹介

(令和元年12月1日付)

第352会計隊

青野原派遣隊長



しお づ ゆき たか  
塩津 幸孝  
2等陸尉  
出身地：和歌山県  
前職務：中部方面会計隊本部  
業務科契約班長  
趣 味：釣り、読書  
抱負 常に笑顔で